

校長室から

「今こそ部活動に打ち込もう」

梅雨らしい、じめじめした天候が続いています。皆様、いかがお過ごしでしょうか。生徒たちはこの暑さのなかでも、授業に部活動に頑張っています。よくやっているなどいつも思っています。

いよいよ7月に入りました。本格的な夏の訪れです。中学校では期末テストも終わり、3年生にとっては最後の中体連の大会が2週間後に迫ってきました。私は、3年生のみなさんが、3年間の部活動の集大成として、この大会に全力投球をしてほしいと思っています。時々部活動を見て回っていますが、必死になって声を出し、汗をかいている中学生の姿は、見ていて本当に清々しくまた尊いものです。

いわゆる反抗期にある子ども、部活で仲間とともに集中して取り組む姿からは、反抗も何も感じさせません。スポーツや芸術の良さは、打ち込めることです。何も考えず自分と向き合い、チームのために、自分のために己の力をぶつけてほしい。今はそうした子どもらしい素直な気持ちで、部活動に打ち込んでほしいと思います。

昨年、私はサッカー競技の専門部長として北信越大会に臨み、猛暑のなかピッチで闘う中学生を見てきました。ピッチの上は40度を超えていたでしょう。闘いに敗れ、精も根も尽き果てて泣き崩れる選手たちを見てみると、もうかける言葉がありません。こちらまで目頭が熱くなります。それほど感動するものです。

子どもが成長するためには、こうしたうれしい、悔しいという素直な気持ちが出せる機会が大切だと思います。勝っても負けても、とにかく熱中する時間を持つことが大事です。部活動の顧問も、今は必死です。生徒たちによい思い出をつくってやりたいと一生懸命になっています。どうか選手諸君、そうした先生の期待にも応えてほしい。そして、この大会やコンクールを通して、またひとまわり人間として成長した姿を見せてください。今はそれを切に願っています。

平成23年7月1日



この優勝旗、また持ち帰ろう！